

安全衛生だより第8号

1. 9月全国行事

1) 防災の日	9月1日
2) 秋の全国交通安全運動	9月21日～9月30日
3) 全国労働衛生週間準備月間	9月1日～9月30日
4) 全国作業環境測定・評価推進運動	9月1日～9月30日
5) 環境衛生週間	9月24日～10月1日
6) 健康増進普及月間	9月1日～9月30日
7) 心とからだの健康推進運動	9月1日～9月30日

2. 安全・衛生・防災の心得 : 防災の日と防災週間

3. 当社 良い事例 (抜粋)

4. 他社 事故・災害事例から : ジブクレーンが転倒し、支柱とパレットの間に挟まれた

5. ヒヤリハット事例 : カッターの刃が定規を乗り越えてヒヤリ

6. 今月のキーワード : 感電

2. 安全・衛生・防災の心得 : 防災の日と防災週間

1) 概要

9月1日を防災の日とした経緯は、関東大震災が発生した日であるとともに、台風シーズンを迎える時期でもあり、また、昭和34（1959）年9月26日の「伊勢湾台風」によって、戦後最大の被害（全半壊・流失家屋15万3,893戸、浸水家屋36万3,611戸、死者4,700人、行方不明401人、傷者3万8,917人）を被ったことが契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、防災の日が創設されました。

また、9月1日の防災の日を含む一週間を防災週間と定められております。



2) 期間

防災の日：9月1日

防災週間：8月30日から9月5日

3) 実施事項：「防災の日」及び「防災週間」には、防災知識の普及のための講演会、展示会等の開催、防災訓練の実施、防災功労者の表彰等の行事が、内閣府や地方公共団体その他関係団体等により、全国的に実施されています。

3. システム監査 良い事例 (抜粋)

●九州第一工場

①監視カメラを増やし毒劇物等の
保安強化に努めていた

②窓がある自動開閉シャッターに変更し、
フォークリフト等との衝突危険性を低減



4. 他社 事故・災害事例から：ジブクレーンが転倒し、支柱とパレットの間に挟まれた

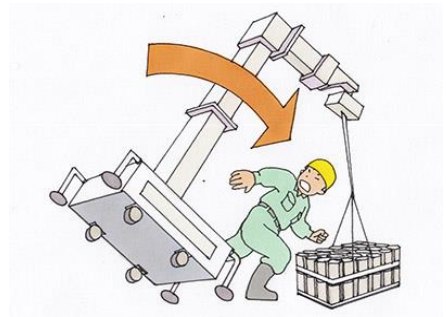
(1) 災害発生状況

各段35個のピストンが載っている2段式パレットにクランプを掛けた。次に、クレーンでつり上げようとしたところ、クレーンが転倒し、支柱とピストンが載ったパレットの間に挟まれた。

(2) 災害発生原因

この災害の原因としては、次のようなことが考えられる。

- ①つり上げる荷の重さを確認せずに、定格荷重を超える荷をつり上げたこと。
- ②作業手順書が作成されておらず、各々の判断で作業していたため、十分な安全措置がとられていなかったこと。
- ③この作業に関する安全教育が不足していたこと。



(3) 再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要である。

- ①定格荷重を超える荷をつらないこと。
- ②リスクアセスメント実施後、クレーンの転倒防止対策を盛り込んだ作業手順書を作成し、作業者に周知すること。
- ③当該作業について、定期的に安全教育を行うこと。

●環境安全部から：当社でも重量物関連の労働災害が発生しております。同種の災害は重篤災害につながりやすいので特に注意が必要です。

5. ヒヤリハット事例

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	事務所で
何をしている時に	ラミネートの余分な部分を切るため、定規をあててカッターで切っていたら
どうなった	カッターの刃が定規を乗り越えてヒヤリとした

6. 今月のキーワード

“感電”

- 感電とは、人体内に電流が流れてショックを受けることです。(電圧がかかっても、電流が流れなければ感電しません)
- 感電の代表的な形態：電圧がかかっている電線や機器に触れ、電流が人体を通過して大地(アース)に流れる。(感電事故の殆どがこの例です。)
- 環境安全部から：暑さから「絶縁用保護具」の着用を怠りがちになる。特に8月は発汗等により感電事故の発生が最も多くなりますので注意が必要です！

